

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	地域間・国際交流	コード	作成者	役職	企画課長
		05-02-01		氏名	里見清美
				電話	64-1871

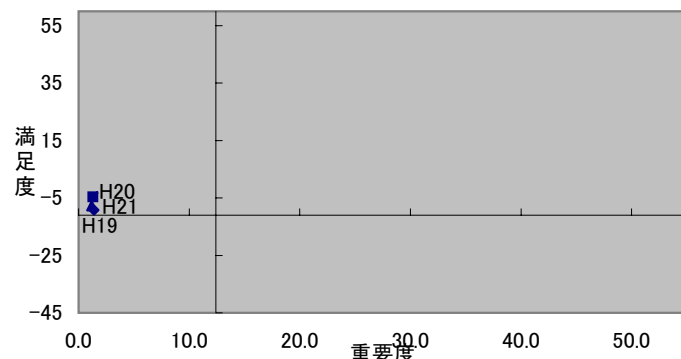
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民一人ひとりが国際感覚を身に付け、誰もが暮らしやすいまちを目指す。特に、青少年の時から国際感覚を身に付けるため。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の国際協力は、オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町との姉妹都市縁組、韓国蔚山広域市東区文化院との文化交流協定を締結しており、青少年による相互交流を行っている。今後は、本市の地域資源を活用し、他地域(市内・他市町村)との人的交流を促進するほか、交流地域や学校・国際交流関係機関との連携を図りながら、文化やスポーツ、観光などをはじめとする交流事業に取り組み、グローバルな視野を持った人材を育成する必要がある。また、地域間交流では、日生の大多府地区と高梁市布寄地区との相互交流事業が継続して行われている。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域間の交流事業の推進 外国人との交流の促進 外国との交流事業の推進 外国人への支援

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	1.4	1.3	1.2	
満足度(%)	-9.2	-4.6	-7.8	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p> <p><維持領域> 現状の方向を継続</p>	平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p> <p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>	低 ← 重要度 → 高
-------------------------	---	----	---	----------------

調査結果に対するコメント、市民の反応等	満足度も重要度も低く、市民の関心は低い。また、「市民意識調査」での国際交流事業に関する意見も1件と少なかった。しかしながら、国際化の進展により、青少年の国際交流事業は活発化させる必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人/年	850	850	850	H21	850
	実績	人/年	836	851	982	H23	850
	達成率	%	98.4	100.1	115.5	H28	850
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 備前市国際交流協会会員数(個人)	目標	人	80	90	95	H21	95
	実績	人	78	82	72	H23	100
	達成率	%	97.5	91.1	75.8	H28	110
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 備前市国際交流協会会員数(法人)	目標	社	10	11	12	H21	12
	実績	社	10	10	25	H23	12
	達成率	%	100	90.9	208.3	H28	15
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									経費の性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース		
				平成18年度			平成19年度			平成20年度						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1 国際交流事業	C	韓国文化交流事業	単市	737	3,230	0.47	1,535	2,301	0.25	614	1,348	0.19	☆☆☆	計画事業	755	
		オーストラリア姉妹都市交流事業	単市	760			5,546	1,617	0.18	380	889	0.12	☆☆☆	計画事業	990	
		国際交流支援業務	内部管理				0	896	0.11	311	244	0.03	☆☆☆	計画事業	49	
		県南オーストラリア州友好協会会費	内部管理	10			10	411	0.05	10	0	0.00	☆☆	その他	10	
		県国際交流協会会費	内部管理	10			10	0	0.00	10	0	0.00	☆☆	その他	10	
		市国際交流協会助成金	内部管理	110	840	0.15	88	0	0.00	58	291	0.05	☆☆	計画事業	47	
		中国雑技団招聘事業	補助				500	404	0.05	300	889	0.12	☆☆	H20終了		
		県日中懇話会会費	内部管理	10			10	0	0.00	10	0	0.00	☆☆	計画事業	10	
		朝鮮通信使400周年記念事業	内部管理				100	0	0.00						H19終了	
		多文化共生事業	内部管理							0	116	0.02	☆☆	人件費のみ	0	
2 国際交流ヴィラ管理事業	C	国際交流ヴィラ管理事業	内部管理	3,209	840	0.15	2,815	524	0.07	2,885	732	0.12	☆☆	計画事業	2,497	
		国際交流ヴィラ運営協議会負担金	単市	356			356	0	0.00	356	93	0.01	☆☆	H20終了		
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度	平成19年度	平成20年度							計			
				5,202	4,910	0.77	10,970	6,153	0.71	4,934	4,602	0.66			4,368	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	ALT事業	児童・生徒にも交流の機会を設けることができる
市国際交流協会	英会話講座の開催	一般の市交流協会会員が英会話を学ぶ

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	八塔寺国際交流ヴィラの利用者は前年より増加した。	3	八塔寺国際交流ヴィラの利用者は前年より増加した。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	国際感覚を養うための交流事業は、引き続き実施する必要があることから、事業構成は適当である。	2	イベント的な事業が多い。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	国際協力関係が重要な社会である以上、交流事業である受入事業、招聘事業、国際交流ヴィラの管理運営事業は必要である。	3	国際交流協会の個人会員の減少が気になる。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	今後も国際協力関係の重要性はますます増大すると思われるので、国際交流事業の必要性を市民にもっとアピールし、推進していく必要がある。また、八塔寺国際交流ヴィラについては、積極的にPRして、利用の向上を図り、収益を上げ、将来の維持管理に備える必要がある。		国際交流協会の個人会員が減少していることを意味を検証してください。	
二次評価者コメント	国際交流は、相互理解のために大切な次行ですが、国際交流協会の個人会員が減少しています。交流の裾野を広げるためにも、個人会員は大切手あると考えます。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 総務部長 氏名 馬場 鉄二			3中立	平均的な配分